

神奈川県立 精神医療センター NEWS

No.24
2023年6月発行



作 長谷川幹人

新型コロナウイルス感染症の5類移行を迎えて



2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、医療機関ではいよいよ本格的に通常医療へと舵を切っていくこととなります。当センターでも、コロナ患者さんを受け入れてきた区画のパーテーションを撤去したのですが、約2年半ぶりに元通りの姿にもどった病棟を見て、長かったコロナとの格闘の日々が一区切りとなることを実感いたしました。

この3年間、患者やご家族、地域支援者の皆様には、院内での会話や飲食、面会、外出、外泊などにあたってさまざまな制限をお願いし、多大なご協力を賜りました。不自由な思いをされることも多かったことと思いますが、皆様のおかげで、大きな感染の波が繰り返された中でも、何とか滞りなく診療業務を継続することができました。5類移行という節目にあたり、これまでの皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

これからも引き続き感染防止対策をとりながら、当センターが果たすべき役割をしっかりと担っていきたいと思います。

所長 田口 寿子

Contents

- 【 外来開設のお知らせ 】
レインボー外来
(性的マイノリティである方の依存症専門外来)
- 【 リニューアルのお知らせ 】
行動の依存に悩む人のための12週間プログラム「こいプロ」始動！
～ギャンブル以外の行動の依存にも取り組む～
- 【 イベントニュース : 開催報告】 看護の日

外来開設の
お知らせ

レインボー外来 (性的マイノリティである方の依存症専門外来)

当センターでは、令和5年度より「**レインボー外来(性的マイノリティである方の依存症専門外来)**」を開設しました。

性的マイノリティの方には偏見や差別が生じやすく、物質使用障害を併存しやすいことがわかっています。さらに、セクシュアリティ、依存症はなかなかオープンにできないことも多いです。そこで、当外来では性的マイノリティであり依存症の問題を抱えている方への医療を提供します。

当外来では、依存症の方々が抱えている「生きづらさ」だけではなく、セクシュアリティに関連した「生きづらさ」についても焦点をあて、患者様それぞれの価値観や回復の道のりを尊重する支援を心がけます。当外来に関する詳細は、当センターホームページに掲載しています。

↓↓下記リンクからホームページへ移動します。
[「レインボー外来\(性的マイノリティである方の依存症専門外来\)」ホームページ](#)

リニューアルの
お知らせ

行動の依存に悩む人のための12週間プログラム「こいプロ」始動！ ～ギャンブル以外の行動の依存にも取り組む～



当院では、ギャンブル依存のある方のためのプログラム「GRIP」を実施してきました。この度、患者様のニーズを踏まえ、**対象をギャンブルだけでなく買い物、インターネット、ゲームに広げ、「行動の依存に悩む人のための12週間プログラム(通称「こいプロ」)**としてリニューアルしました。

行動の依存の背景には認知や感情、生活、人間関係など共通のテーマがあります。依存している行動を止めることだけでなく、その背景にある「生きづらさ」について共に考え、学べるプログラムを目指しています。

「こいプロ」では最近の医学的・心理学的な知見を取り入れながら、行動の依存に至る背景や回復に向けた対処について、より深く学び、考えられるよう、テキストやワークを充実させました。4月よりパイロット版の実施を始めています。ご興味のある方は、主治医にご相談ください。

イベントニュース【開催報告】

看護の日

フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日は「看護の日」と制定されており、各地で看護に関するイベントが開催されます。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでしたが、今年度は当院でも感染対策を実施しながら開催することができました。

テーマを「笑顔を咲かせよう看護の心」とし、身近な話題を題材とした講演会、デイケアの皆さまによる創作作品の展示とパフォーマンスが披露されました。また、デイケアや入院患者さんの昼食を看護の日特別メニューとし、カードを添えさせていただきました。



第1部は、管理栄養士より「コンビニ食を使った免疫力向上」について、免疫力を上げるための食事の仕方や食材・メニューの選択などをお話しました。

第2部のデイケアの皆さまのパフォーマンスは、歌あり、演奏あり、ダンスあり、会場の皆が参加できる曲目もあって、とても盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

第3部は、看護師より実際のアロマオイルの香りを皆で確認しながら、「アロマの効能」についての講演をしました。また、自分の好きな香りを選択しての香袋づくりを体験してもらい、会場がアロマの香りで満たされ、癒しの空間となりました。



来年も看護の日のイベントを開催し、看護を知っていただく機会を作りたいと思います。

センターニュースでは、みなさんのご意見を随時募集しています。

取り上げてほしいテーマや、ご要望等がある方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

神奈川県立精神医療センター 総務課 soumu.1517@kanagawa-pho.jp